

委員会のうごき

総務常任委員会

9月12・16日の2日間、総務常任委員会に付託された決算議案6件と陳情3件の審査及び所管の事務調査を行った。

(総務課)

財政健全化判断比率

健全化判断比率4つは、国が定めた基準値以内であり、健全な財政運営が行われている。しかし、20年度には、町の資産を含めたバランスシートを作成しなければならない。

地方交付税

1億6700万円普通交付税が増えたのは、「がんばる地方応援プログラム」の制度化による。20年度にも、都市と地方の格差是正のため、地方再生対策費として、1億6500万円が措置されている。



なかなか進まない地籍調査

(人権推進課)

滞納金

住宅新築資金等貸付金の滞納について、現年度未収金が1322万円、滞納繰越分が2億9025万円、合計で3億347万円ある。

不納欠損を、中山で1件、大山で1件、計2件、金額にして351万円行った。

(税務課)

不納欠損

22件の固定資産税の不納欠損3026万円の内容については、事業の倒産・廃止に係るもので法に適用のみを不納欠損した。今後この制度を乱用する考えはない。

(地籍調査課)

地籍調査

完了するのに30年も掛かると、境界確認者がいなくなる心配がある。国の補助金によって短縮するには、町の予算額

(企画情報課)

公共交通対策費

公共交通対策費4229万円は、赤字バス路線維持対策費補助金や巡回バスに係る費用。

(中山支所総合窓口課)

ナスパルタウン

ナスパルタウン自治会



分譲中のナスパルタウン

の増加や職員数の増員等、市町村側の推進体制を整えることが必要。

は、平成20年2月に発足して、現在35軒の方が加入している。

なかやま温泉の利用客

指定管理者は、営業日や営業時間の見直しを図り、利用客の増加に積極的に取り組んでいるが、ガソリン代の高騰などにより、客数は最盛期の11万人に比べ、20年は9万人と年々減少の傾向にある。